

久留米大学医学部 2018年度入学試験 解答速報 物理

2018年2月1日 実施

- 1** (1) $G \frac{Mm}{R^2}$ [N] (2) $R\omega^2$ [m/s²] (3) (ウ) (4) $2\pi \sqrt{\frac{R^3}{GM}}$ [s] (5) $\frac{GMm}{2R}$ [J]
(6) $-\frac{GMm}{2R}$ [J] (7) $\sqrt{2}$ 倍 (8) $\frac{1}{8}$ 倍 (9) $-\frac{GMm}{8R}$ [J] (10) $\frac{4}{3} \sqrt{\frac{GM}{R}}$ [m/s]

解説

(3) 等速円運動をしているので、加速度の向きは円軌道の中心向きとなる

(4) 周期 $T = \frac{2\pi}{\omega} = 2\pi \sqrt{\frac{R^3}{GM}}$

(5) 運動エネルギー $K = \frac{1}{2}mv^2 = \frac{1}{2}m(r\omega)^2 = \frac{GMm}{2R}$

(6) 力学的エネルギー $E = K + U = \frac{1}{2}mv^2 + \left(-\frac{GMm}{R}\right) = -\frac{GMm}{2R}$

(7) 無限遠に飛び去るのは力学的エネルギーが0以上のときなので、力学的エネルギーが0となる速さを V として、

$$\frac{1}{2}mV^2 + \left(-\frac{GMm}{R}\right) = 0 \quad \therefore V = \sqrt{\frac{2GM}{R}} = \sqrt{2}v$$

(8) 面積速度一定の法則より $\frac{1}{2}8Rv_B = \frac{1}{2}Rv_A \quad \therefore \frac{v_B}{v_A} = \frac{1}{8}$

(10) 力学的エネルギー保存の法則 $\frac{1}{2}mv_B^2 + \left(-\frac{GMm}{8R}\right) = \frac{1}{2}mv_A^2 + \left(-\frac{GMm}{R}\right)$ と、面積速度一定の法則から v_B を消去して、 $v_A = \frac{4}{3} \sqrt{\frac{GM}{R}}$

2

- (1) $2T_0$ [K] (2) $\sqrt{2}$ 倍 (3) $3V_0$ [m³]
- (4) $\Delta U_I = \frac{3}{2}p_0V_0$ [J] $\Delta U_{II} = \frac{3}{2}p_0V_0$ [J] $\Delta U_{III} = -3p_0V_0$ [J]
- (5) $W_I = 0$ [J] $W_{II} = 3p_0V_0$ [J] $W_{III} = -2p_0V_0$ [J]
- (6) $Q_I = \frac{3}{2}p_0V_0$ [J] $Q_{II} = \frac{9}{2}p_0V_0$ [J] $Q_{III} = -5p_0V_0$ [J]
- (7) $\frac{1}{6}$ (8) (エ)

解説

- (1) 状態 A と B についてのボイル・シャルルの法則より, $\frac{p_0V_0}{T_0} = \frac{2p_0V_0}{T_B} \therefore T_B = 2T_0$ [K]
- (2) $\frac{1}{2}mv^2 = \frac{3}{2}kT$ より, 2乗平均速度は絶対温度の平方根に比例するので,

$$\frac{\sqrt{v_B^2}}{\sqrt{v_A^2}} = \sqrt{\frac{T_B}{T_0}} = \sqrt{2} \text{ 倍}$$
- (3) 状態 A と C についてのシャルルの法則より, $\frac{V_0}{T_0} = \frac{V_C}{3T_0} \therefore V_C = 3V_0$ [m³]
- (4) 過程 I: $\Delta U_I = \frac{3}{2}R(T_B - T_0) = \frac{3}{2}RT_0 = \frac{3}{2}p_0V_0$ [J]
 過程 II: $\Delta U_{II} = \frac{3}{2}R(3T_0 - T_B) = \frac{3}{2}RT_0 = \frac{3}{2}p_0V_0$ [J]
 過程 III: $\Delta U_{III} = \frac{3}{2}R(T_0 - 3T_0) = -3RT_0 = -3p_0V_0$ [J]
- (5) $P - V$ 図の面積を考える.
 過程 I: $W_I = 0$
 過程 II: $W_{II} = \frac{1}{2}(p_0 + 2p_0)(3V_0 - V_0) = 3p_0V_0$ [J]
 過程 III: $W_{III} = p_0(V_0 - 3V_0) = -2p_0V_0$ [J]
- (6) 加えられた熱量を Q , 気体がした仕事を W とすると, 熱力学第 1 法則より $Q = \Delta U + W$ が成り立つ.
 過程 I: $Q_I = \Delta U_I + W_I = \frac{3}{2}p_0V_0$ [J]
 過程 II: $Q_{II} = \Delta U_{II} + W_{II} = \frac{9}{2}p_0V_0$ [J]
 過程 III: $Q_{III} = \Delta U_{III} + W_{III} = -5p_0V_0$ [J]
- (7) 熱効率 $e = \frac{W_I + W_{II} + W_{III}}{Q_I + Q_{II}} = \frac{p_0V_0}{6p_0V_0} = \frac{1}{6}$
- (8) 圧力が $\frac{5}{4}p_0$ の時に, 気体の内部エネルギーが最大となる. つまり, この時に温度も最大となる. したがって, 気体の温度は上がってから下がる. 選択肢は (エ)

3 (1) eV [J] (2) $\sqrt{\frac{2eV}{m}}$ [m/s] (3) ローレンツ力, $\sqrt{\frac{2e^3V}{m}} \cdot B$ [N] (4) 0
 (5) $\frac{1}{B} \sqrt{\frac{2mV}{e}}$ [m] (6) $\frac{\pi m}{4eB}$ [s] (7) $\frac{1}{a} \sqrt{\frac{2mV}{e}}$ [T] (8) $\sqrt{\frac{2eV}{m}} \cdot B$ [V/m]

解説

- (1) 電子 (電荷の大きさ e) が電圧 V で加速されたので, eV [J]
 (2) 求める速さを v とおくと, 力学的エネルギー保存則より, $\frac{1}{2}mv^2 = eV$
 よって, $v = \sqrt{\frac{2eV}{m}}$ [m/s]
 (3) ローレンツ力の向きは, フレミングの左手の法則や, 右ネジの法則などを用いて決めると良い. 負電荷の場合は間違え易いので気をつけること. 大きさは, $evB = \sqrt{\frac{2e^3V}{m}} \cdot B$ [N]
 (4) 静磁場による力 (ローレンツ力) は仕事をしないので 0.
 (5) 半径を r とおくと, 運動方程式は $m\frac{v^2}{r} = evB$,

$$r = \frac{mv}{eB} = \frac{1}{B} \sqrt{\frac{2mV}{e}}$$
 [m]
 (6) 円運動をするので, 中心角 45° の円弧を回転する時間は $\frac{1}{8}$ 周期. 周期は, $T = \frac{2\pi r}{v} = 2\pi \frac{m}{eB}$
 とかけるので, $\frac{T}{8} = \frac{\pi m}{4eB}$ [s]
 (7) スクリーン到達する限界のとき, $r = a$ であるから, (5) の結果より, $a = \frac{1}{B} \sqrt{\frac{2mV}{e}}$

$$B = \frac{1}{a} \sqrt{\frac{2mV}{e}}$$

 (8) このとき, ローレンツ力とクーロン力が釣りあって, 等速直線運動している場合を考える.
 求める電場の大きさを E とおくと, $evB = eE$ より, $E = vB = \sqrt{\frac{2eV}{m}} \cdot B$ [V/m]

講評

- 1** [力学: 万有引力] (標準) 万有引力の標準的な問題. 前半は易しい. 後半も, 楕円運動の扱いがきちんと分かっていたら完答できる.
2 [熱力学: 熱サイクル] (標準) 熱サイクルの標準的な問題. $P-V$ 図において過程 III の傾き負の直線が断熱曲線と接していると難しくなるが, 今回は接していないので扱いは易しい. ただし, 断熱曲線が接しているかどうかを確かめようと思った学生は, かえって時間をロスした可能性がある.
3 [電磁気学: 荷電粒子の運動] (標準) 荷電粒子の運動の標準的な問題. 幾何的な扱いも容易な問いが多く, この問いも完答しておきたい.

昨年度と同程度の難易度, 目標は 85%

医歯学部進学予備校 **メビオ**

〒540-0033 大阪市中央区石町2-3-12 ベルヴォア天満橋

フリーダイヤル ☎0120-146-156

<http://www.mebio.co.jp/>

